

先輩インタビュー



Interview

博士前期課程 白井研究室 志田 宗久 さん

親身な指導と高性能ハード、 恵まれた環境で研究に邁進

近年、インターネット上などでトラブルのもとになっている有害な言葉を、AIや言語モデルを使って自動的に排除する「文章の有害度判定システム」を研究しています。単純に暴言が含まれる表現は判定しやすいですが、例えば「皮肉」のような暗黙的に有害な言葉も判定できるシステムの実現に向け、日々トライ・アンド・エラーを積み重ねています。

大学で絵本の自動生成の研究を進めていた際に、内容にそぐわない乱暴な言葉が生成されてしまう課題を抱えていたことから、自然言語処理分野に強い白井研究室で究めたいと考えJAISTへ。実際に研究を取り巻くサポートは手厚く感じます。毎週、先生の指導が受けられて研究が効率よく進み、週に2回のゼミでは論文の発表や質疑応答、輪講のほか、自分の研究の進捗を話し合う機会も得られ、様々な知識を仕入れられて研究に有効です。また、AI学習などの膨大なデータを扱う作業にも、自宅にしながら高性能サーバーを利用でき、スピーディーに処理できます。

融合科学共同専攻は、金沢大学の講義も受けられることが特長。特に私の研究に関わりのある心理学や認知科学といった本学では修得できない文系科目も学べます。機械学習などのプログラミング関連などは、本学とは異なる切り口の講義で、二重学習ができるのが魅力です。

今後は、現在研究中のシステムの精度を高めて社会実証を目指したいですし、自然言語処理に関連する業界への就職を志望しています。これまでの研究で培った自らの力を社会に役立てていきたいと考えています。